

湯沢市川連町字下平城209
Tel. 0183-42-2175 Fax.0183-42-4617
[営業時間] 9:00~17:00
[定休日] 年末年始を除き、年中無休



総務の佐藤嘉展さん。「永輝」の名付け親でもある。「位牌は、故人への最後の贈り物」と話す。

商品を見つめ直し、新たにブランドを構築



株式会社 木彩屋

ライフスタイルの変化に伴い、
厳しい状況にある仏壇・仏具業界。
その打開策として「位牌」に着目した。

位牌は故人そのもの

湯沢市川連町で仏壇や仏具を製造・販売する木彩屋は、平成27年秋から戒名の部分に24金純金箔やプラチナ箔を使用したオリジナル高級位牌「永輝」の注文販売を始めた。仏間や仏壇のない家、葬儀や法要の簡略化が進む中、なぜ高級位牌なのか。

「位牌とは亡くなられた方の名を刻むための“うつわ”であり、戒名を刻むことによって故人そのものになる。このように位牌の文字は非常に大切な意味を持っているにもかかわらず、形や素材ばかりが重視され、戒名には金色の合成塗料を使った量産型タイプが一般化してしまった。位牌そのものの意味を見直し、故人に敬意を表すにふさわしい戒名加工ができないかと考えた」。木彩屋の佐藤嘉展さんは、開発の背景についてこう語る。

純金箔を用いる技術を確認

もともとレーザー沈金の彫刻加工を得意としていた同社。位牌の主役である文字(戒名)には現状の文字よりも酸化変色することのない金に輝く文字こそふさわしいのではないかと考え、末長く輝きを保つ純金箔の使用を思いついた。しかし、24金純金箔は柔らか過ぎて扱いが難しく位牌には使ってこなかった。試行錯誤しながら、下処理加工を施して箔押しする技術を確認。漆塗りの位牌にレーザーで文字を刻み、24金純金箔または純度100%のプラチナ箔を貼る「沈金」と、文字の周囲を掘り下げ、立体的に浮き上がらせた戒名に箔を貼る「篆刻」、2種類の戒名加工法を開発した。

新規や販路を順調に開拓

あきた産業デザイン支援センターの助言で取り組んだのが、マーケティング、販路拡大など、見せ方・売り方の分野。さらに専門家派遣事業を活用しながら、「終活」にポイントを定め、昨年は「エンディング産業展」などのイベントに出展して位牌の重要性の周知を図った。

イベントへの参加や業界誌に取り上げられたことをきっかけに、さっそく個人から注文を得た。この全国的にも珍しい高級位牌を気に入り、茨城県からわざわざ同社を訪れて依頼してくれた。また、すでに取引を行っている長野県の大手葬儀社からは好評を得ており、中にはこの位牌を求めて法要の日程をずらしてまで求めたお客様もいるという。

「最高の位牌を追求し、業界の流れを変えたい」と佐藤さんは力を込める。



A 位牌にレーザー加工で文字を彫った後、職人が丁寧に金箔を貼り、文字に輝きを与える。

B 高級位牌「永輝」の沈金タイプ。一枚の位牌に先祖代々の戒名を篆刻できる商品もある。

事業概要 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター 総務相談グループ
知財・デザインセンター担当
TEL 018-860-5614